

田三七と朝鮮人參

田 三 七	朝 鮮 人 參
<ul style="list-style-type: none"> ・ ウコギ科 サンシチニンジン ・ 乾燥根（サトイモのようにずんぐりとした形） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウコギ科 オタネニンジン ・ 乾燥根（白く細長く“人”の字のよ うな形をしている）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成分 サポニン配糖体 約12% <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">[</div> <div style="margin-right: 5px;">↓</div> <div style="margin-right: 5px;">↓</div> <div style="margin-right: 5px;">↓</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 田三七サポニンA 田三七サポニンB 田三七A素 <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">↓</div> <ul style="list-style-type: none"> Ginsenoside Rb₁ Rg₁ Rg₂ その他に田三七ケトン・Arasaponin を含む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成分 サポニン配糖体 約4～5% <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓</div> <ul style="list-style-type: none"> Ginsenoside Rb₁ Rg₁ Rg₂ 他10種類 以上 精 油：0.05% コリン：0.1-0.2% その他にアミノ酸・ペプチド類など を含む
<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬味／薬性：甘・苦／微温 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬味／薬性：甘・微苦／温
<ul style="list-style-type: none"> ・ 効能・効果 滋養強壯作用 強心作用（田三七A素による） 冠状動脈疾患（田三七ケトンによる） 高血圧（田三七ケトンによる） 止血作用（Arasaponin A・B による） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効能・効果 滋養強壯作用 （漢方では代表的な補気薬で元気を 補い、脾胃を健やかにし、神経を 安定させ、津液を生じる効能があ る）

4. 田三七市場品

通常田三七の規格はその大きさにより分ける。昆明の薬材市場では 15頭/20頭/30頭/40頭/60頭/80頭/100頭/120頭/160頭/200頭/大二外/小二外/無数頭/剪口/支根と田三七の花が売っていた。磨き加工時に蜜蠟や滑石の粉などを加えて磨くことも多く、薬材市場では下記の加工品が並んでいた。

- ・乾燥した田三七をそのまま磨いたもの
- ・滑石の粉を付けて磨いたもの
- ・蜜蠟を付けて磨いたもの
- ・蜜蠟と炭を付けて磨いたもの

市場品

左：滑石粉を加えて磨いたもの

中：そのまま磨いたもの

右：蜜蠟を加えて磨いたもの



市場品

左：滑石粉を加えて磨いたもの

右：蜜蠟と炭を加えて磨いたもの



5. “生”と“熟”について

今回、田三七の“生”と“熟”の違いについて産地の農民・加工業者・薬材市場の店主に何回も尋ねたが、結論として

- ・産地の農民・加工業者・薬材市場は“生”しか取り扱っていない。
- ・“熟”は修治したものであり、その多くは片状あるいは粉末状になっている。

また、当地の漢方薬局では顧客の要望によりそのつど“熟”（片状あるいは粉末状）を製造し、顧客に販売する。それゆえ、薬材市場でみかけた表面の色が黒い田三七（蜜蠟と炭を付けて磨いたもの）は中国ではあくまで“生”であり“熟”ではない。

以 上